

完了後の評価個表

事業名	地域防災対策総合治山(国有林)	事業計画期間	平成8年度～平成13年度(6年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	黒河山(くろこうやま) 福井県	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署
完了後経過年数	5年	管理主体	福井森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、黒河川の上流、福井県敦賀市南部に位置する。敦賀市の重要な水源地域であり、国有林には、森林の有する国土保全、水源かん養等の公益的機能の発揮等が要求される地区である。花崗岩地帯で風化が進んでおり、溪流は侵食による荒廃が進行し、山地災害危険地区が13箇所と多い地区である。このため、溪流荒廃地を治山施設整備により復旧し、併せて過密化し下層植生が減少した人工林に、本数調整伐等の森林整備を行うことにより、保安林機能の維持・増進を図り水資源の確保と下流域の保全を図るために本事業を実施した。</p> <p>主な事業内容 渓間工 11基、保安林管理道 2,674.5m、森林整備 101.10ha</p>		
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>本事業の採択当時においては、事業評価制度が導入されておらず、費用対効果分析は行っていないが、現時点における分析結果は以下のとおりである。</p> <p>総費用(C) 722,507千円 総便益(B) 1,977,116千円 分析結果(B/C) 2.74</p>		
事業効果の発現状況	<p>事業実施により溪流の侵食と土砂移動の抑止が図られ、また、森林内の照度が改善され下層植生の回復が図られた。施工後の集中豪雨及び台風に対しても災害の発生はなく、効果の発現が認められる。</p>		
事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備された治山施設については、福井森林管理署において管理されている。</p>		
事業実施による環境の変化	<p>事業の実施により、渓床の不安定土砂の安定化と森林内の植生の回復が図られた。また、本事業の実施による環境への影響は見受けられない。</p>		
社会経済情勢の変化	<p>事業着手時から人口、世帯数とも増加。その中で当地区の下流には、上水道の取水施設、浄水場があり水源及び水質の確保が重要である。 保全対象：市道、県道、人家、水道施設</p>		
今後の課題等	<p>国土保全効果を長期にわたって発揮させるため、森林整備などを適切に実施していく必要がある。また、今後の事業においてもコスト縮減の努力を続けることが必要である。</p> <p>地元の意見： 敦賀市の重要な水源であり、災害対策、公益的機能の発揮、下流域の自然環境保全等のため、今後とも計画的に整備促進願う。 (敦賀市)</p>		
第三者委員会の意見	<p>事業の効果が発揮されていると認められる。</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 重要な水源地域であり、また、山地災害の未然防止等、水源かん養機能と国土保全機能を兼ね備えた保安林機能の発揮のため本事業の実施が必要であった。 ・有効性： 事業実施により、渓床の不安定土砂の安定と森林の下層植生の回復等が図られ、森林の有する機能が十分発揮されており有効な事業であると認められる。 ・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工法・工種で検討されており、また、事業実施にあたってコスト縮減に努めていることから、効率性は認められる。 <p>上記～の各項目等及び第三者委員会の意見を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、事業の目的である不安定土砂の流出防止及び過密林分の健全化対策が有効に機能し、保全対象の保全及び保安林機能の増大が図られたものと認められる。</p>		

完了後の評価個表

事業名	保安林整備促進(国有林)	事業計画期間	平成12年度～平成13年度(2年間)												
事業実施地区名 (都道府県名)	井谷奥(いたにおく) (島根県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署												
完了後経過年数	5年	管理主体	島根森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当地区は斐伊川支流、島根県雲南市の東部に位置している。花崗岩地帯で風化が進んでおり、降雨等による表層侵食を受け易い地質である。下流集落の重要な水源地域であり、国有林には、森林の有する国土保全、水源かん養等の公益的機能の発揮等が要求される地区である。このため、過密化により下層植生が減少した人工林に本数調整伐等の森林整備を行い、併せて、溪流荒廃地を治山施設整備により復旧し、保安林機能の維持・増進を図り下流域の保全を図るために本事業を実施した。</p> <p>主な事業内容 溪間工1基 森林整備 172.28ha</p>														
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<table border="0"> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>73,973千円</td> <td>(事業採択時)</td> <td>56,550千円</td> </tr> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>366,987千円</td> <td>(事業採択時)</td> <td>246,018千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>4.96</td> <td>(事業採択時)</td> <td>4.35</td> </tr> </table>			総費用(C)	73,973千円	(事業採択時)	56,550千円	総便益(B)	366,987千円	(事業採択時)	246,018千円	分析結果(B/C)	4.96	(事業採択時)	4.35
総費用(C)	73,973千円	(事業採択時)	56,550千円												
総便益(B)	366,987千円	(事業採択時)	246,018千円												
分析結果(B/C)	4.96	(事業採択時)	4.35												
事業効果の発現状況	事業実施により、森林内の照度不足が改善され、下層植生の回復が図られた。施工後の台風・集中豪雨等に対し、災害の発生もなく、効果の発現が認められる。														
事業により整備された施設の管理状況	本事業により整備した治山施設については、島根森林管理署において管理されている。														
事業実施による環境の変化	事業の実施により、森林内の植生の回復が図られた。また、本事業の実施による環境への影響は見受けられない。														
社会経済情勢の変化	<p>本事業の実施により森林の安定が図られた。また、平成16年には市町村合併により、大東町が雲南市に編入された。</p> <p>保全対象：鉄道、市道、県道、人家</p>														
今後の課題等	<p>国土保全効果を長期にわたって発揮させるため、森林整備などを適切に実施していく必要がある。また、今後の事業においてもコスト縮減の努力を続けることが必要である。</p> <p>地元の意見： 当谷止工については、溪流荒廃の抑止に効果を発揮している。今後とも保安林整備についてより一層の促進をお願いする。 (雲南市)</p>														
第三者委員会の意見	事業の効果が発揮されていると認められる。														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 重要な水源地域であり、水源かん養機能と国土保全機能を兼ね備えた保安林機能の発揮のため本事業の実施が必要であった。 ・有効性： 事業実施により、渓床の不安定土砂の安定と森林の下層植生の回復等が図られ、森林の有する機能が十分発揮されており有効な事業であると認められる。 ・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工法・工種で検討されており、また、事業実施にあたってコスト縮減に努めていることから、効率性は認められる。 <p>上記～の各項目等及び第三者委員会の意見を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、事業の目的である不安定土砂の流出防止及び過密林分の健全化対策が有効に機能し、保全対象の保全及び保安林機能の増大が図られたものと認められる。</p>														

完了後の評価個表

事業名	水源森林総合整備（国有林）	事業計画期間	平成9年度～13年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	黒木ダム上流（くろきだむじょうりゅう） （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
完了後経過年数	5年	管理主体	岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、吉井川の上流、岡山県津山市の北東部に位置する。当地区内の水道、農業、発電、防災機能を併せ持つ県営黒木ダム周辺上流部には、黒木ほか4国有林が所在し、津山市の重要な水源地域であり、国有林には、森林の有する国土保全、水源かん養等の公益的機能の発揮等が要求される地区である。</p> <p>このため、山腹崩壊地、溪流荒廃地を治山施設整備により復旧し、併せて過密化し下層植生が減少した人工林に、本数調整伐等の森林整備を行うことにより、保安林機能の維持・増進を図り水資源の確保と下流域の保全を図るために本事業を実施した。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.56ha 溪間工 4基 森林整備 510.19ha</p>		
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>本事業の採択当時においては、事業評価制度が導入されておらず、費用対効果分析は行っていないが、現時点における分析結果は以下のとおりである。</p> <p>総費用（C） 261,927 千円 総便益（B） 2,522,687 千円 分析結果（B/C） 9.63</p>		
事業効果の発現状況	<p>事業実施により、崩壊地の復旧及び溪流荒廃地の安定が図られた。また、森林内の照度不足が改善され下層植生の回復が図られた。</p> <p>施工後の台風・集中豪雨等に対し、災害の発生もなく、効果の発現が認められる。</p>		
事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備した治山施設については、岡山森林管理署において管理されている。</p>		
事業実施による環境の変化	<p>事業の実施により、山腹や溪床の不安定土砂の安定化と森林内の植生の回復が図られた。また、本事業の実施による環境への影響は見受けられない。</p>		
社会経済情勢の変化	<p>当地区は、集中豪雨や台風の都度、不安定土砂の流出が発生していたが、本事業の実施により安定が図られた。なお、平成17年の市町村合併により、加茂町が津山市に編入された。</p> <p>保全対象：市道、県道、ダム</p>		
今後の課題等	<p>国土保全効果を長期にわたって発揮させるため、森林整備などを適切に実施していく必要がある。また、今後の事業においてもコスト縮減の努力を続けることが必要である。</p> <p>地元の意見： 吉井川上流に位置し、下流住民の水資源の確保と山地災害の未然防止のため治山施設の必要性を認識。積極的な防災施設の設置を要望。（津山市）</p>		
第三者委員会の意見	<p>事業の効果が発揮されていると認められる。</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 必要性： 重要な水源地域であり、水源かん養機能と国土保全機能を兼ね備えた保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要であった。 有効性： 事業実施により、山腹崩壊地の安定化、溪床の不安定土砂の安定化森林の下層植生の回復等が図られ、森林の有する機能が十分発揮されており有効な事業であると認められる。 効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工法・工種で検討されており、また、事業実施にあたってコスト縮減に努めていることから、効率性は認められる。 <p>上記～の各項目等及び第三者委員会の意見を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、事業の目的である不安定土砂の流出防止及び過密林分の健全化対策が有効に機能し、保全対象の保全及び保安林機能の増大が図られたものと認められる。</p>		